



旭小だより

美咲町立 旭小学校
平成30年 12月 10日
文責 光嶋 昭善



学習発表会を終えて 皆様の感想から

11月10日の学習発表会には、ご多用の中、たくさんの方においでいただき、大変ありがたく思っております。ご覧いただいたの感想も多数いただきました。ありがとうございます。その中からほんの一部を紹介します。

昨年度とは違い本来あるべき学習の発表会だったと思います。……どの学年もプレゼンテーションの力が身につけているのを感じ、見栄えがしました。個人一人一人がとてもよく頑張っていると思いました。学校方針に変化が現れたことに気づかされました。ますますよい方向にいくことを期待しています。…

プログラムをもらった段階では本当に学習発表ばかりか、と少しさびしい気持ちでした。が、当日の子どもたちの姿を拝見し、これも必要かとも思いました。……劇での一つの役とは違い、自分の意見を発表し、自分だけに注目！！こういう緊張感の中でのプレゼンテーション能力はもっと必要なことでしょう。旭という小さな地域で全校の子どもの名前がいえるという環境から、社会に出た時を考えると外部との接触や刺激は必要だと感じます。

地域を大切にしているなあと感じました。学習したことを深め、自分たちの考えをまとめて発表することの難しさ達成感を感じ取ってくれたことでしょう。

1～2年生はかわいらしいという感じでしたが、3年生から内容がガラッと変わって「学習発表会」という会らしくなってきました。高学年になると更にその内容も難しくなり、大人の私でも考えさせられること、気づけていなかったことがたくさんありました。とても勉強になりました。

歌声にやさしさを感じました。でも、もっともっと楽しい感じや切ない感じを表現できたらいいですね。体を横に揺らすとか表情とか全身で表現しながら歌えると楽しいはず。

学校の意図をふまえて肯定的に評価していただきましたことを大変嬉しく思っています。ありがとうございます。また、次のような感想も、世代を超えたことからであり、つながり、歴史を感じます。ありがたいことです。

各学年のまとまりがとても良く、20年前の我が子以上に、6年生が中心に1年生まで100点以上だとほめてください。

なお、頂戴しました改善意見につきましては、今後の指導や運営に生かしてまいります。歌唱にしても、発表の声にしても日常の継続的な指導がなければできないことです。もちろん発表内容にしてもそうです。会のためだけに特別なことを多くの時間を割いてすることは、望ましいことではないと考えております。目指す子ども像がどのように実現しているかを見ていただければ幸いです。

ステージ照明等は毎年悩み工夫しているところですが、施設上難しい問題です。



高齢化社会を共に生きる

～6年 総合的な学習の時間～

11月29日、介護食をテーマにした学習を行いました。私は都合で参観できなかったのですが、授業後、指導して下さった栄養士や社会福祉士の方々と懇談することができました。子どもたちの活動から多くの気づきと示唆を得ることができました。

《要介護者の身体的条件だけを示し、介護食を食べさせるという体験の中で》

一その1-

ある子は、「これから食べますよ。」「口を開けてください。」と言ってから、食べ物を口元に運んでいったそうです。



指導者は何も言っていない。前回の学習での「コミュニケーションが大切」「相手の立場で考えながら」ということが生きているのです。

—その2—



食べさせてもらったある子は、「食べさせてもらうのは気まずいんじゃないなあ。自分で食べたいなあ。」とつぶやいていたそうです。指導者は「我が意を得たり」と、自助具の必要性につなげていったそうです。体

験してみないとわからない感覚ですが、それをどう生かすかということが、学習の上でも、福祉の現場でも大切であることを、子どもたちは体感したのでは、と思います。

《指導者の言葉から》

- 6年生は思いをいっぱい持っている。考えている。感じ取る心がある。その思いを引き出していきたい。
- 介護食を食べて「まずい」との感想が出た。それでいい。だけど、「そのままでもいいの?」「ならば、おいしいものにしよう。」と考えてほしい。自分でやってみようと考えれば、自らの将来を考えることにもなる。

マイナスをそのままにしたり、諦めたりするのではなく、それを克服し、より良いものをめざすから可能性なのです。夢があるのです。総合的な学習で目指していることなのです。

《黒板の記録から》

- この体験を通して大切にしてほしいと示された力「気づく力」「考える力」「挑戦する力」。これらは、旭の子どもたちに求めている力です。「こんな方法がある」「これでいいのかな」この思考もまた、「じょうぶな頭」「まああるい心」であり、「かしこい体」になる上で大切なことなのです。

雅楽鑑賞

雅楽は日本音楽の源といってもいいものなのですが、あまりなじみを感じないかもしれませんね。初詣やお祓いで神社に行ったときに耳にした音楽、あれです。おそらく「越天楽(えてんらく)」という曲で



す。しかし、箏、琵琶、鼓など、なじみ深い和楽器は雅楽から出てるものが多いのです。

オーケストラや歌舞伎・義太夫、民謡のようにその気になれば、演奏会、舞台を見つけれられるというものでもありません。それだけに、雅楽を身近に鑑賞したり、演奏に参加したりする(6年生が参加しています)機会が必要だと考えたのです。今回は文化庁の事業に応募当選し、実現しました。

お手玉ありがとうございます

川南サロンの皆様からお手玉を60個いただいています。室内遊び、昔遊びとしても、巧みな動き、タイミングのよい動きを身に付けていく上でもお手玉は適した遊びです。しっかり活用したいと思います。



鉄棒遊び

室内用低鉄棒を1年生前のワークスペースに置いています。よく遊んでいます。逆上がりなどの技ができることも大切ですが、その基になる感覚を十分に養うことはもっと大切です。これは体育の時間だけでは無理なことです。日常的な遊びを通して楽しみながら身に付いていくものです。幼児期や低学年の内に、こうした感覚づくりをしておきたいのです。

今後の予定

日	曜	主な行事
11	火	5年リース作り
12	水	集金日
13	木	5校時下校 中学生読み聞かせ
14	金	5校時下校 6年福祉学習
20	木	5校時下校 給食終わり 大掃除 通学班会
21	金	終業式 3校時下校
1/8	火	始業式 給食始まり 下校指導 4校時下校
9	水	身体測定
10	木	交通指導 身体測定
11	金	集金日

